

科目名		解剖学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
作業療法にとって、骨や筋などの運動器の理解は非常に重要になる。身体各部位の運動器についてその構造をしり、それが意味する事や機能を理解し、今後の作業療法学専門領域の学習の基礎を築く。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
全身の運動器系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	上肢の解剖（筋・関節・神経）①							
3	上肢の解剖（筋・関節・神経）②							
4	上肢の解剖（筋・関節・神経）③							
5	上肢の解剖（筋・関節・神経）④							
6	上肢の解剖（筋・関節・神経）⑤							
7	上肢の解剖（筋・関節・神経）⑥							
8	下肢の解剖（筋・関節・神経）①							
9	下肢の解剖（筋・関節・神経）②							
10	下肢の解剖（筋・関節・神経）③							
11	下肢の解剖（筋・関節・神経）④							
12	下肢の解剖（筋・関節・神経）⑤							
13	下肢の解剖（筋・関節・神経）⑥							
14	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）①							
15	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）②							
16	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）③							
17	まとめ①							
18	まとめ②							
19	脳の解剖							
20	〃							
21	〃							
22	脊髄の解剖							
23	〃							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 解剖学	野村	医学書院
プロメテウス 解剖学コア アトラス	坂井	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
